

## 第8回宗麟公まつり 報告書

○日 時 令和3年10月30日(土)31日(日)

○会 場 南蛮 BVNGO 交流館遺跡発掘跡広場

10月下旬からコロナ感染者が大幅減となり、今回の入場者数は2日間述べ5千人を数えた。今までは大分駅前が会場で純粋な入場数というのは把握できなかったが、今回は真水である。以下写真で振り返ってみたい。

なお、福岡県新宮町から「道雪会」の皆さんが応援に駆けつけ、武将姿で花を添えてくれた。ステージ紹介で立花道雪公が二人(新宮町の道雪と鉄砲隊の道雪)いたのが笑いを誘った。



開会あいさつする佐藤樹一郎大分市長と牧達夫宗麟公まつり実行委員長





右上は牧実行委員長と赤神諒先生のトークショー。  
左は「宗麟公得度(出家)の模様」臼杵樹林寺の松川ご住職親子が熱演、さすが本職と観客の好評を得た。そしてナレーターは林壮一郎大友氏顕彰会臼杵支部長が務めた。



大友氏顕彰会と大河ドラマ推進協議会のコーナー



左下はポルトガルギターのマリオネットと南蛮BVGOMAN ドリンオーケストラとの共演



豊後大友宗麟鉄砲隊の一員として武将姿でステージに立つ若杉事務局長(浅葱色の陣羽織)。左端着座しているのが豊後の立花道雪、右の緋色の陣羽織に白頭巾が筑前(道雪会)の立花道雪。上の写真の中央から右と下の写真が道雪会の皆さん。

会場を出て一般市民の目に触れることが大切。下は大分駅前に集結した豊後(大分市)・筑前(新宮町)の武将たち。今後福岡・大分の交流を深めることで意見が一致した。



# 第1回道雪公まつり 報告書

○日 時 令和3年11月3日(水曜・文化の日)

○会 場 福岡県新宮町六所神社境内

10月31日の宗麟公まつりに8名の道雪会の皆さんが参加していただいたので今回は大分からの訪問である。第1回につき、豊後大友宗麟鉄砲隊の大倉さんが助言、1回目にしては完成度の高いプログラムを組んでいた。鉄砲隊8名と大河ドラマ推進協議会は牧会長と若杉事務局長、藤田幹事の3名で参加した。10:30分から昼までの1時間30分、短いながらも内容が充実していてあっという間だった。以下、写真で紹介する。



左上: 受付風景、右上: 若杉・牧・藤田、右中: 藤田・牧・大倉・若杉、下: 来賓あいさつする牧会長、右は道雪会・杉尾会長、後ろはスタッフの山鹿・舞の各氏。





上：出陣式、中左右：忍者の演舞、下：観戦客・真ん中あたりに藤田・牧の両氏。





応援に駆け付けた豊後大友宗麟鉄砲隊の大筒の不発に、指揮した閻千代がつい笑ってしまった。



道雪菩提寺・梅岳寺にお参りした後凱旋。道雪の重臣らの旗指物が見える。右は地元 TV 局 TNC が取材、当日 7 時前のニュースで放送、大分でも視聴できた。写真右は角隈石宗(大倉)を先頭に鉄砲隊の面々。下は着陣式の模様。柳川市からは「立花宗茂と閻千代を大河ドラマに」の幟がはためく。





左は御礼の挨拶をする道雪こと道雪会の杉尾会長。右は地元立花小学校の6年生、地元の歴史を授業に取り入れ学習している。当然大友氏のことも知っており、大分市の小学生も南蛮 BVNGO 交流館のボランティア活動しているが、授業に取り入れているのだろうか。子どもたちの交流も望まれる。



終了後、梅岳寺にお参りした。帰途、宗像大社に寄り見学、地元のボランティアガイドに案内されてガイドの勉強にもなった。帰りはちょっとしたハプニングが起きた。都市高速に乗ったら門司ICまで行かされ、3号線に出るまで右往左往、やっと小倉駅前で10号線の道標を見て感涙、3人で笑ってしまった。

